

様式1

令和4年度 学校評価表

学校教育目標	未来を拓き 人間力豊かに 学び続ける高見っ子の育成		
--------	---------------------------	--	--

a ミッション	〇小中連携教育を基盤としたカリキュラム・マネジメントの推進による主体性・表現力の育成	a ビジョン	人間の根っこを育てる学校づくり
---------	--	--------	-----------------

尾道市立高見小学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h	i	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					を達成	を達成	度達成	評価		イ	ロ	ハ		
(気付き性・考え現、力幸・動かすかわり合い)の育成	関わり合いを通じた主体的な学びの確立	児童が自ら学ぶための主体性と表現力の育成	カリキュラム・マネジメントを通して児童が主体的に課題発見・解決学習に取り組む授業づくりを進める。 論理的に表現できる児童を育成するために、理科・生活科を中心にといった研究を行う。 基礎的・基本的な学力を高めるために、補充学習を行う。	理科・生活科における各単元の主体的に学んでいるB評価以上の児童の割合（評価規準に基づいた個々の児童の評価） 各単元におけるまとめ・表現したもののB評価以上児童の割合 国語科・算数科単元末テスト（思・判・表）における単元末テスト問題通過率80%以上の児童の割合（80%以上）	80									
	自己を振り返り、よりよく生きようとする態度の育成	人との関わり合いを通じて、自他のよさを認め合う人間関係の形成	「しまっこしぐさ」を基盤とし、縦割り班活動や学校行事等を通して、自分のよさに気付く、友達のよさを感じられる児童を育成するとともに、自他のよさを具体的に表現できるようにする。	縦割り班活動や学校行事後の児童の振り返りで、自他のよさに気付いていた児童の割合（児童振り返りカードに具体的に記述する。）	80									
	自らの生活を振り返り、よりよく生活しようとする態度の育成	成果を実感できるよう、めあてを意識して、振り返りをさせる。 運動好きな児童を増やし、体力を育むために、積極的に外遊びができる機会をつくる。	生活リズムチェック表において、早寝・早起きを達成できた児童の割合 体を動かすことに肯定的な児童の割合（児童アンケート） 体力が向上した児童の割合（体力テストの再実施の結果）	80 80 80										

【自己評価 評価】
A：100≦（目標達成）
C：60≦（もう少し）<80

B：80≦（ほぼ達成）<100
D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。ハ：わからない。